

(臨床研究に関するお知らせ)

**和歌山県立医科大学附属病院第 2 外科にて小児期の消化管疾患にて、一時的な人工肛門を造設し、その後閉鎖した患者さんおよびご家族の方へ**

和歌山県立医科大学外科学第 2 講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方およびそのご家族の方で、診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

**1. 研究課題名**

小児期人工肛門閉鎖時の通過障害に関する後ろ向き観察研究

**2. 研究責任者**

和歌山県立医科大学外科学第 2 講座 助教 三谷泰之

**3. 研究の目的**

小児期の人工肛門閉鎖における臨床的特徴、特に消化管通過障害の原因について解析することを主目的としています。

**4. 研究の概要**

**(1) 対象となる患者さん**

小児期に一時的に人工肛門を造設した患者さんで、2013 年 1 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日までの期間中に、人工肛門閉鎖手術を受けた方

**(2) 利用させて頂く情報**

この研究で利用させて頂くデータは、小児期人工肛門閉鎖に関する臨床情報です。臨床情報とは、出生時の情報、入院および外来での治療経過についての情報を調査させていただきます。

**(3) 方法**

小児人工肛門閉鎖における臨床的特徴を解析し、閉鎖後の消化管通過障害の原因について明らかに致します。

**5. 個人情報の取扱い**

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

**6. ご自身およびご家族の情報が利用されることを望まない場合**

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身およびご家族の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

**7. 問い合わせ先**

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学講座 担当医師 三谷泰之

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566

E-mail : [ymitani@wakayama-med.ac.jp](mailto:ymitani@wakayama-med.ac.jp)